

■ 地域協働合校の取り組み

(新堂中学校)

1 【活動の趣旨】

今年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から、昨年まで学校全体で行っていた70名余りの講師を招き講座を開く活動の中止を余儀なくされた。そこで、委員会や学年単位で講師を招き、例年の活動を深める取組を行うこととした。リモートなど、手段を工夫しながら行うようにした。

2 【特徴的な活動内容】

○「職業講話」

2年生キャリア教育の一環として様々な職業の7名の講師の方に、仕事について講話を聞いた。

○「ビブリオバトルを学ぼう」

図書委員会で計画している「ビブリオバトル」を実施するにあたり、サークルで取り組んでいる大学生の講話と実践をリモートで視聴し、ルールやコツを学んだ。

○「SDGsから考えよう」

2年生を対象にキャリア教育の一環として、世界中で取り組まれているSDGsについて講師から学び、ゲームに参加して今後の生き方について考えた。



【職業講話】



【ビブリオバトルを学ぼう】

3 【実施に当たっての工夫】

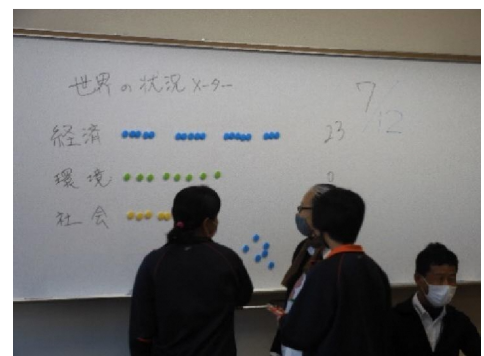
講師の先生方と電話やリモートなどで事前に打ち合わせし、代表生徒が講師と事前に顔合わせすることで、生徒が講師に親しみを感じ、事業により積極的に関わることができるようにした。

4 【事業の成果】

職場体験は中止であったが、各講師の職業について講話を聞き、勤労の意義や実際に体験されている仕事についての奥深さについて学ぶことができた。ビブリオバトルを知らない生徒にもイメージができ、実施する意欲につながった。SDGsについては、各教科でも触れながら学習することができ、SDGsを意識する態度が養われた。来年度はさらに、SDGsの目標と様々な取組をつなげて生徒が意識できるようにしたい。



【SDGsから考えよう】



【SDGsから考えよう】

5 【事業実施上の課題】

今年度のように、年度当初の計画通りにいかな
い状況に臨機応変に対応しながら、今後も実施していく必要がある。年度当初に学校内のニーズと地域の方の支援体制を把握しておくこと、状況の変化に対処しやすくなるため、先を見通した計画を前年度に立てておきたい。また、小学校とも連携し、さらに情報を共有できるとよいと感じた。